

10
獨り利益を収める罷工破りであつた。斯くぞ見た罷工職工は異口同音に彼等を罵つた。果ては石礫の矢玉が雨のやうに飛來した。此時忽ち物陰から騎馬巡查の一隊が現はれてピストルを向けつゝ追つて來た。群集は驚いた。が忽ち驚きは憤慨に變つた。そして兩者の間に争ひが起り双方共に無数の死傷者を出した。併し之は未だ大した事ではなかつた。争闘は再びその翌四日を以て更に激しく行はれた

△一發の爆裂彈

此日生憎の風雨にも拘らずヘー、マーケットの廣場に集つた労働者の數は前日より遙かに殖れてゐた。何分市場の廣場の事とて演壇の設けもなく、又ロンドンのトラファルガル、スクアアのやうに

演壇に代用の出來る銅像の台もなかつたので群集は有り合せた車を引張つて來て辯士はその上に立つて慷慨憤憤の演説をした。やがて夜となるや連發銃を携へた百五十人の警官隊は現はれて呀や労働者を包圍しやうとした。恰度その時であつた。何處から投げられたか一發の爆裂彈はその警官隊の中に轟然炸裂して約二十人の警官は仆された。忽ち後方に控へた警官隊は連發銃を亂射しつゝ逃二無二労働者の群を襲撃した。暫時の格闘の後九腰の労働者は多數の死傷者を出して退却の止むなきに立至つた。労働者及警官の死傷は百名を超へた。擧げられた労働者、新聞記者など數百の多きに達した。そしてその中バドソン、スバイス、フィッシュャー、エンゲル其他八名の者は爆彈投下の犯人と認定され（實は之れは冤罪で實犯人は別